



千葉大学ユニオンニュース第 31 号 2007 年 10 月 24 日

編集・発行: 千葉大学ユニオンニュース委員会

ホームページ: <http://www.age.cc/~cuu/> メールアドレス: cuu@e-mail.jp

電話・ファックス: 043-290-2234 ファックス専用: 020-4666-6229 西千葉キャンパス総合
校舎G号館401室 ☆声をお寄せ下さい☆ みなさんの職場でお気づきのことや
質問を、千葉大学ユニオンは待っています。

いきすぎた人件費抑制？見直しが必要

過剰な人件費抑制による膨大な節約保留？

行革推進法にもとづいて全国の国立大学法人は人件費の削減を余儀なくされていますが、文科省 HP*によれば、平成 17 年度予算に比して 18 年度決算の人件費は軒並み平均 4%程度、年率で 2%程度削減されています。例えば関東圏の国立大学法人では次の通りです

筑波大学	2.7%	8 億 7 千万円余減
茨城大学	4.6%	3 億 5 千万円余減
宇都宮大学	4.1%	6 億 5 千万円余減
埼玉大学	4.8%	3 億 4 千万円余減
千葉大学	4.1%	8 億 1 千万円余減
東京大学	3.0%	18 億 1 千万円余減
横浜国立大学	5.4%	4 億 9 千万円余減

*http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/19/08/07072607/001/007.htm 参照

このことは、平成 21 年度までに概ね 4%程度の人件費削減を行うとした中期目標の想定を上回るものであり、年次進行で逡減していくはずの交付金中の人件費部分が必要以上に先取り削減され、その差額を転用可能にしているとみることができます。ただし、文科省 HP で言う人件費とは、「常勤の役員及び職員に支給される報酬、給与、賞与、その他の手当の合計額」ですので、非常勤職員等の人件費(物件費や研究費として処理されている場合が多い)を加えた真の総人件費が実際にはどの程度削減されたのか、そしてその削減分が他の用途にどの程度転用されたのか直ちにはわかりません。因みに千葉大学 HP**の図 9 によれば、常勤教職員給与は 17 年度に対して 18 年度は、0.8%(1.41)億円の減です。なお、17 年度には人件費繰越分が 3.7 億円もありますが、これが何に転用されたか、公表資料では不明です。

**http://www.chiba-u.ac.jp/message/president/budget/17_18ks_19_yosan.pdf 参照

一方、同 HP の図 14(学長裁量経費)には 18 年度に「補正予算分 2.20 億円」の記載があります。これは国の補正予算からの配分ではなく、18 年度の人件費支出が予定より少なかったため 2.26 億円減額補正した中から投入された 2.2 億円分です(『ユニオンニュース』2006 年 11 月号)。この減額分の大半は退職者の後補充なし、あるいは遅延による 1.59 億円が占めています(同年 11 月 30 日、財務部からの説明)。つまり、退職者不補充や採用の遅延

によって相当額の人件費が浮くという構図なのです。17 年度、18 年度と続いた相当額の人件費の浮きが一過性のものであるのか、行革推進法によって強要される総人件費削減計画と関連して人件費の削減が実際にはどのように行われているのか、ユニオンとして注意深く監視する必要があります。なぜなら、人件費の増額による常勤、非常勤を問わず教職員の待遇改善は、ユニオンの基本的要求ですから。

【注目】今夏の人勧に千葉大はどう対処するのか

8 月 8 日に人事院勧告が出ました。俸給表改善の勧告としては 8 年ぶりとなる重要な問題を扱っています。給与に関する重要なポイントとして、民間給与との較差(0.35%)に鑑み、若年層に限定した俸給月額引上げ、扶養手当の引上げ(500 円)、19 年度の地域手当支給割合の改定。期末・勤勉手当の引上げ(0.05 月分)。「専門スタッフ」職俸給表の新設などですが(参照:人事院 HP*)、そこに示された指針には給与以外に今後の大学運営や教職員の処遇に大きく関わってくるものがみうけられます。

* http://www.jinji.go.jp/kankoku/h19/h19_top.htm

- 1 新たな人事評価制度の導入ー能力・実績に基づく人事管理の推進
- 2 専門職大学院等に対応した人材確保ー人材供給構造変化への対応、
- 3 新たな幹部要員の確保・育成の在り方ーキャリア・システムの見直し
- 4 退職管理ー高齢期の雇用問題
- 5 勤務時間の見直し、超過勤務の縮減

ここに例示しただけでも、我々の労働条件を直接に規定する重要な問題が目白押しといえます。

人事院による勧告とその前提となる分析には、認識が甘い点もありますが(参照:国公労連 HP**)、これからの世紀を担う若手に光が見える内容は、不十分ですが評価できます。しかし専門スタッフについては「超過勤務手当等の適用を除外」など厳しいのです。これらのうち積極的勧告を千葉大として重要課題とするのは当然です。が、それ以上に千葉大役員会は本学に働く者の待遇の厳しさにどこまで固有の見識を示すのか(9/11 部局長連絡会で本人勧内容が報告されています)、ユニオンは注視していきます。

**<http://www.kokko-net.org/kokkororen/chousa/>

また近いうちに本問題について全学的勉強会を開催する予定であります。詳細が決まりましたら、ユニオン HP でご案内しますので、ふるってご参加ください。

駅伝大会レポート

学長杯争奪！第2回千葉大学駅伝大会が2007年10月8日(月・体育の日)に実施されました。昨年はユニオン、走友会、生協の共催行事として教職員だけの開催でしたが、今年は陸上部とユニバーサル・スポーツ・チバが企画から参加し、学生参加への門戸を広げ、コース区間距離も3種類のバラエティ性を持たせた5区間で開催しました。

当日は生憎の雨にも関わらず、会場となった附属中学校グラウンドに、学生単独、教職員単独、学生と教職員の混成を合せた計25チームが参加。大会委員長の古在豊樹学長は今年も事務局チームで3区を見事に完走。引継ぎ時に空手部チームは各人が板割りのパフォーマンスを見せ、応援者や各チームから盛大な喝采を浴びていました。

結果は平成16年同期組が最終アンカーで逆転して2年連続の学長杯を獲得、2位には保健体育科大学院生チームが入り走友会会長杯、3位は工学部化学系学生のブツロクが続いてユニオン賞の盾を、ブービーは事務局チームで生協賞を、それぞれ獲得しました。

駅伝終了後に生協第1食堂で懇親会が開催されて古在学長をはじめ90名以上が参加。今年は撮影されたデジカメ画像をスライドショーで観覧しながら行ったので、各人の走りを見ながら、学生、教職員、地区や機関を超えての懇親が活発に行われました。参加チーム数増加を運営目標としつつ、来年度以降の更なる大会の発展・成長を期待します。

(実行委員:斎藤了一記)



スタート直前の様子



たすきを手に走る！走る！

職員総合作品展迫る！申し込み締切は31日へ延期

教職員交流の場として、「職員総合作品展」を復活させ、本年秋開催いたします。ご自慢の作品を出展し、友と語り、大いに交流を深めましょう。近隣のOB、OGの方々にもぜひお声をかけください。以下に従い、出展希望者は早めにお申し込み願います。なお、展示用ボードパネルとテーブルは用意いたします。搬入方法等については、申込み受付後お知らせいたします。

◆**出展作品内容:**写真・絵画・書道・彫刻・篆刻・フラワーアレンジメント・手芸品等オリジナルの作品

◆**展示期間:**11月5日～8日

◆**展示場所:**けやき会館2階 会議室3

◆**申込み締切:**10月31日(水) 17:00へ延長

◆**申込み先:**tmiya@faculty.chiba-u.jp

(宮内崇裕@理学研究科, ファクス:043-290-2845)へ以下の情報を記入して送ってください。

氏名:

所属:

連絡先メールアドレス、電話ファクスなど:

作品内容(個数・サイズ情報も書いてください):

総合作品展実行委員会(教職員有志の会です)

世話係:宮内崇裕(理学研究科地球科学コース)

(千葉大学本部からも支援をいただいております)

地域手当の一律化へ団交申し入れ

2006年度より東葛地域と千葉市教職員に対しては一律支給になりましたが、現在なお、教員を除いた鴨川市、銚子市、沼田市、東伊豆町に勤務する常勤・非常勤職員には地域手当が全く支給されていません。このような状況を打開するために団体交渉を申し入れました。

◆ユニオンの主な活動報告

9/13 第30号ユニオンニュース編集作業

～9/14 自己評価カードについて各部署長へ申し入れ

9/18 第30号ユニオンニュース発行

9/19 非常勤問題覚書作成・送付

10/3 第1回政策会議

10/4 第2回四役会議(今後の運営議題整理)

10/11 第2回執行委員会(地域手当一律化団交申し入れ等)

10/12 地域手当問題に関する団交申し入れ

10/17 第3回四役会議(公開質問状とニュース発行について)

10/18 学長選挙公開質問状手交

10/23 学長選臨時号、第31号ユニオンニュース編集作業

◎編集後記

N0.31のニュース発行は、学長選臨時号と並行しての作業となりました。前号では写真がなく寂しい感じがしておりましたが、本号では斎藤さんと木下委員長から駅伝大会の写真提供がありました。今後は各支部からの記事提供を積極的に行おうという意見があります。写真や記事などをお寄せくだされば、掲載していきたいと思っております。なにとぞよろしく。<吉田 記>